

# 続！自分で出来る喜びを

part3



～今度は自宅のトイレへ挑戦～  
要介護2の女性。現在ポータブルトイレを使用していましたが、自宅のトイレを使いたいと本人の要望があり、ニーズを叶えるためにいろいろな取り組みをしてみました。

## ①自宅訪問し、実際に御家族とケアマネジャーと福祉用具プランナーと相談し、トイレ環境をどうするか決定する。

① 立ち上がりと歩行のための手すりの設置

② トイレ内への移動と開き戸を開けるために手すりを設置



ケアマネからの依頼  
安全にトイレができるようにしてあげたい。



家族の思い  
本人の思うようにしてあげてください。



機能訓練士の思い  
転倒ない安全な環境を作りたい。

## ②トイレ動作に必要な動作と動線を確認し、環境に合わせたトイレ動作訓練を実際に行う。

導線動作確認

★ドアの開閉訓練★

★スリッパで歩行訓練★



自分でドアを開けている



家の環境に近づけて

## ★両手すりを持った立ち座り訓練★



## ★狭い空間での方向転換訓練★



## ★トイレを流すためのリーチ訓練★



## 今後の展開

本人希望により、自宅のトイレを使いたい要望がありました。多職種連携しながら、自宅でのトイレ動作自立を目指しました。本人が安全にできるように必要な福祉用具を導入し、家の環境に近づけたリハビリを継続して行いました。そして、**自宅では一人でトイレをすることができるようになり、本人も喜ばれ家族も喜ばれていました。**意欲のある方なので、今後も本人のニーズを聞きながら、さらなる出来ることを増やし、**自分のできる喜びを楽しんでもらいたい**と思います。



【お問い合わせ】

富田デイサービスセンター 086-522-8511 (田原・能勢・青木・リハビリ川上)



V



